



知的財産デューデリジェンスに関する標準手順書  
Standard Knowledge for Intellectual Properties due Diligence  
オープン検証ハンドブック

- 作成: NTTデータ経営研究所
- 監修: ギットハブ・ジャパン合同会社
- 2017年11月21日

# 知的財産デューデリジェンスに関する標準手順書(SKIP)のオープン検証

## 1. 本オープン検証について

- 1. 1 知的財産デューデリジェンスとは
- 1. 2 標準手順書作成の目的
- 1. 3 GitHubによるオープン検証について

## 2. GitHubの使い方

- 2. 1 GitHubとは？
- 2. 2 GitHubを使用した文書共同編集
- 2. 3 GitHubアカウントの取得
- 2. 4 SKIPのリポジトリにアクセスする
- 2. 5 編集する文書の選択
- 2. 6 文書の編集
- 2. 7 変更内容の送信(pull request)
- 2. 8 変更内容送信 (pull request)の完了

# 1. 本オープン検証について

# 1. 1 知的財産デューデリジェンスとは

- デューデリジェンス

デューデリジェンス(Due Diligence)とは、事業提携やM&A等の事業再編の意思決定において、主に出資者等の側が、提携や買収等に関する判断を行うために、対象会社の協力を得て、対象会社に関する情報や問題点を発見するために行う調査のことです。従来デューデリジェンスと言えば財務、ビジネス、法務の観点調査を行うのが一般的でした。

- 知的財産デューデリジェンス

近年、企業を取り巻く経済環境は大きく変化しており、特許や技術、ブランド、製品デザインなど企業の持つ知的財産の重要性が高まっています。こうした流れを受け、対象企業の知的財産活動について、技術法務等の観点から総合的に調査・評価を行うというのが、知的財産デューデリジェンスです。

- 重要性

知的財産を独立分野としてDDを行うことは、知財の専門的な調査や技術を評価できるアドバイザーの不足などより、一般的ではありませんでした。しかし近年、経済環境の変化にともなって企業価値の中で技術・ブランド・特許等の知的財産の重要性が増しており知的財産デューデリジェンスの重要性も高まっています。

# 1. 2 知的財産デューデリジェンス標準手順書作成の目的

- 標準手順書作成の目的

知的財産デューデリジェンスの標準手順書を作成することで経験のない方でも知財DDの手順を理解、実行できるようにすることが目的です。

- 事業略称「SKIP」について

「知的財産デューデリジェンス標準手順書」(Standard **K**nowledge for **I**ntellectual **P**roperties due Diligence)の頭文字を取って略称を「SKIP」と称します。煩雑な手順をスキップして気軽に実施を可能にする、というニュアンスを込めています。



# 1. 3 GitHubによるオープン検証について

- オープン検証の実施

本事業においては標準手順書案を作成した上でインターネット上のオープンな環境で一般企業、業界有識者などからの具体的な修正案を広く公募します。

- GitHubの使用

本オープン検証のプラットフォームとしてはバージョン管理機能をもつ共同作業プラットフォームとしては世界最大級規模である(2017年10月時点で世界2400万人)GitHubを使用します。

- 検証サイト等

URL : <https://github.com/SKIPDD/DueDiligence>

検証期間 : 2017年11月21日~12月28日

## 2. GitHubの使い方

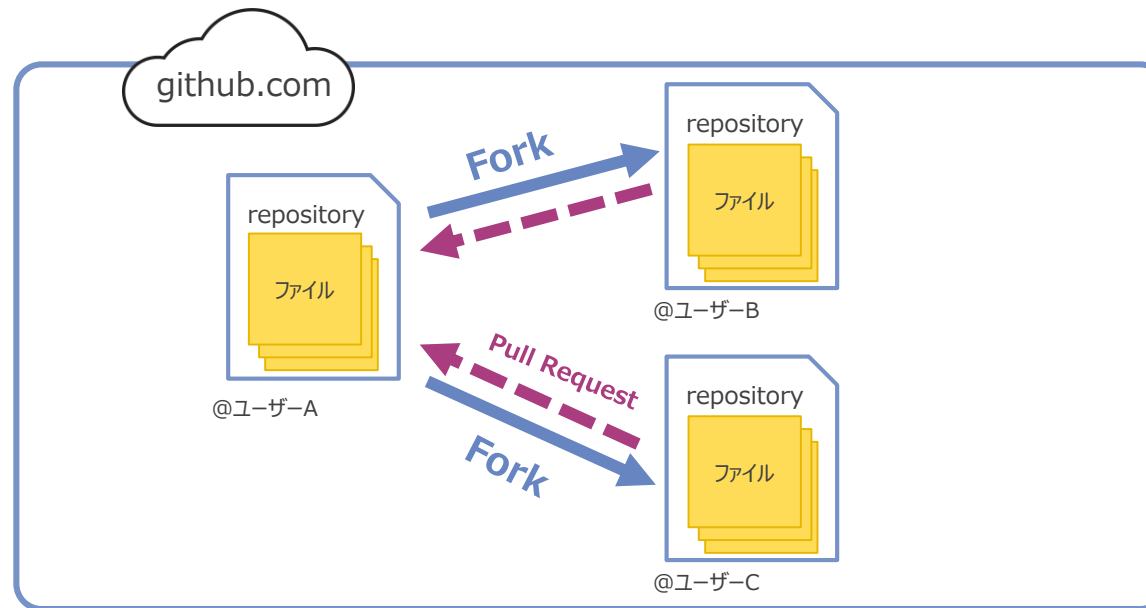
## 2. 1 GitHubとは？

- GitHubはプログラム、デザインデータやドキュメント等を一般公開しバージョン管理しながら共同編集することが可能なウェブサービスです。
- 無料でアカウントは作成可能で有料アカウントを作成すると指定されたユーザーのみに公開範囲を限定したプライベートな作業空間(リポジトリ)を作成することができます。
- バージョン管理機能をもつ共同作業プラットフォームとしては世界最大級規模です(2017年10月時点で世界2400万人)
- GitHub社によって運営されています。2015年6月に日本法人が設立されました。



## 2. 2 GitHubを使用した文書共同編集（1 / 2）

- GitHub上で公開した文書やファイルは全ての人が閲覧することが可能です。
- GitHubユーザーであれば誰でもファイルに対する変更案を反映するようリクエストすることができます。(pull request)



### 用語

repository(リポジトリ) : GitHub上で管理されたファイルや変更内容が保存される場所。

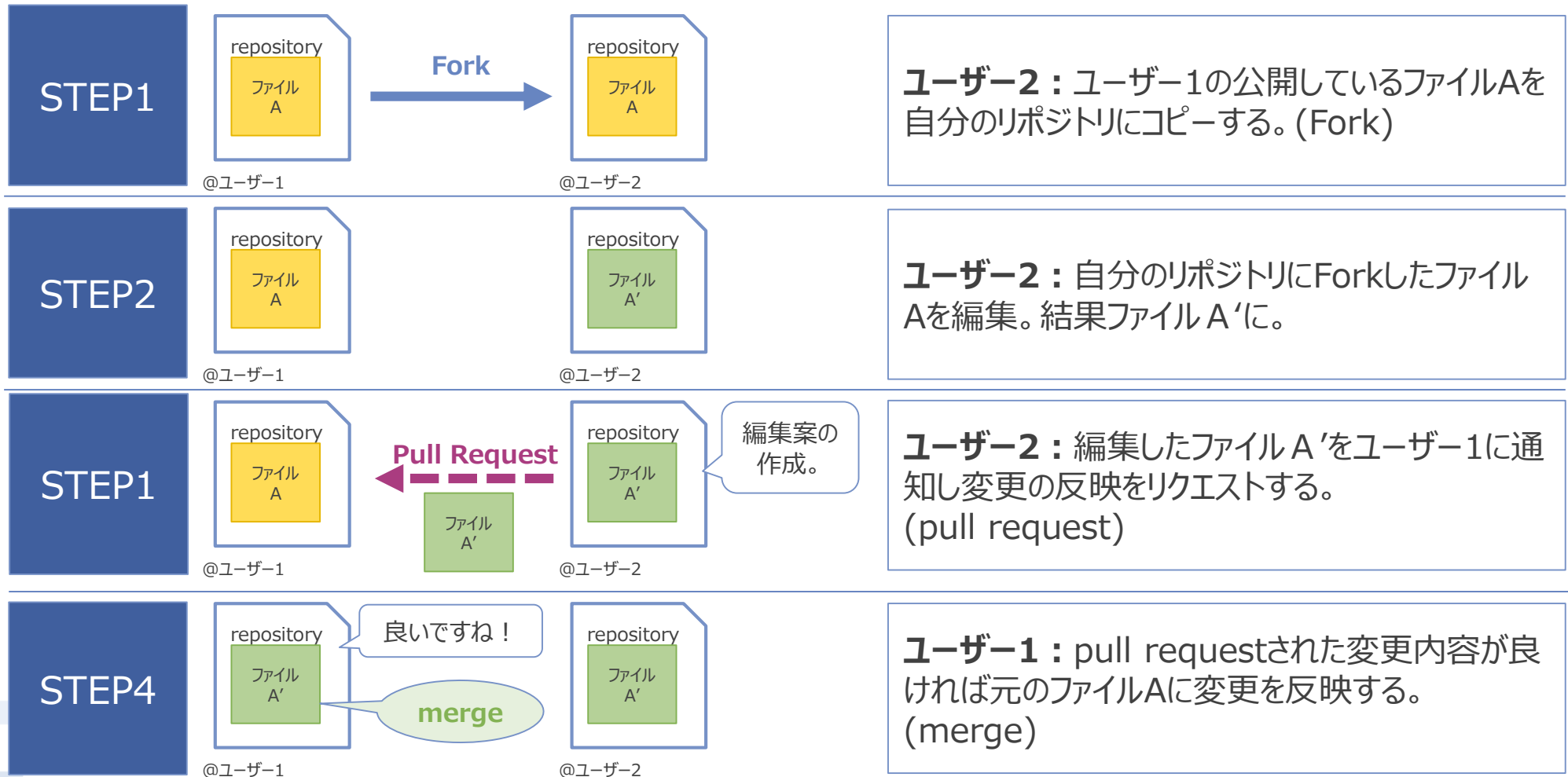
Fork(フォーク) : GitHub上の他人のリモートリポジトリを編集するために自分のアカウント下にコピーすること。

pull request(プルリクエスト) : 自分が行った変更をマージしてもらうようリクエストすること。

merge(マージ) : pull requestなどを承認し変更内容をオリジナルファイルに反映させること。

## 2. 2 GitHubを使用した文書共同編集（2 / 2）

- 例：「ユーザー1」の公開している「ファイルA」に対して「ユーザー2」が変更を提案する場合



## 2. 3 GitHubアカウントの取得

- WEBブラウザを使用して<https://github.com/>にアクセスします。
- 任意のユーザー名、メールアドレス、パスワードを登録しGitHubのアカウントを作成します。

The image shows the GitHub sign-up page. On the left, there is a large heading "Built for developers" and a paragraph describing GitHub as a development platform. On the right, there is a sign-up form with three input fields: "Username" (placeholder: "Pick a username"), "Email" (placeholder: "you@example.com"), and "Password" (placeholder: "Create a password"). Below the password field, there is a note: "Use at least one letter, one numeral, and seven characters." At the bottom of the form is a green button labeled "Sign up for GitHub". Below the button, there is a disclaimer: "By clicking 'Sign up for GitHub', you agree to our terms of service and privacy policy. We'll occasionally send you account related emails." To the right of the form, there are three blue boxes with labels: "ユーザーネーム" (Username), "メールアドレス" (Email address), and "パスワード" (Password). A green box with a pointer to the sign-up button contains the text: "ユーザーネーム、メールアドレス、パスワードを入力したらSign up ボタンをクリックします。" (After entering the username, email address, and password, click the Sign up button.)

Username

Pick a username

Email

you@example.com

Password

Create a password

Use at least one letter, one numeral, and seven characters.

Sign up for GitHub

By clicking "Sign up for GitHub", you agree to our terms of service and privacy policy. We'll occasionally send you account related emails.

ユーザーネーム

メールアドレス

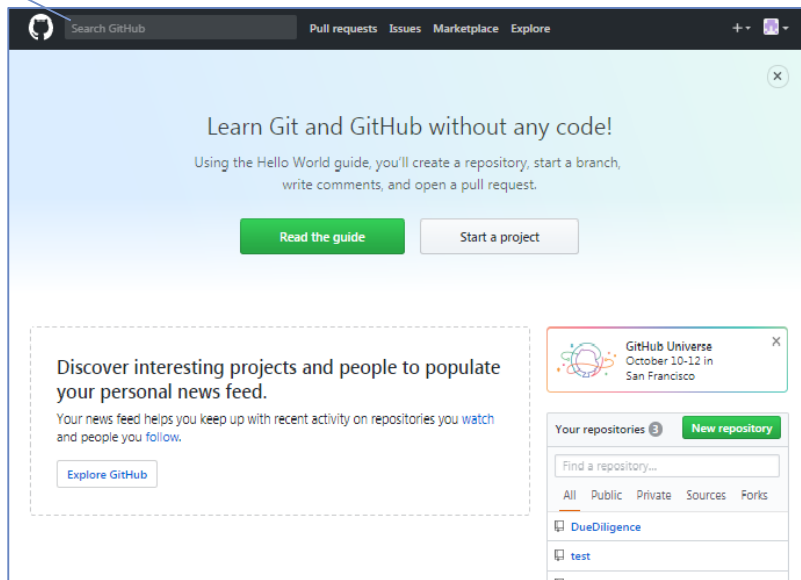
パスワード

ユーザーネーム、メールアドレス、パスワードを入力したらSign up ボタンをクリックします。

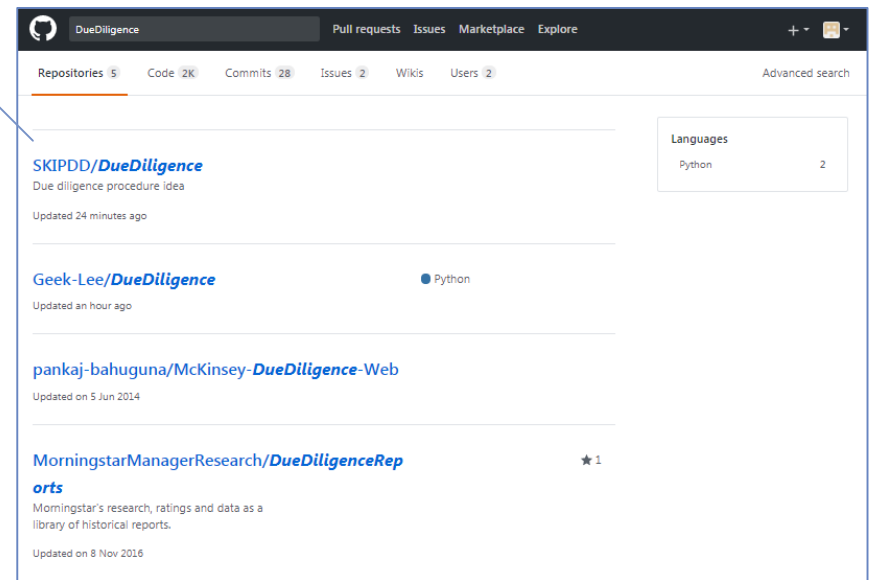
## 2. 4 SKIPのリポジトリにアクセスする

- GitHubにサインインしたら画面左上の検索ウィンドウから“DueDiligence”という文字列を検索してください。
- 検索結果の中から“SKIPDD/ DueDiligence” を選択してクリックして下さい。

公開されているリポジトリはこの検索ウィンドウから検索することができます。



DueDiligenceと検索すると幾つかりポジトリが表示されます。  
<https://github.com/SKIPDD/DueDiligence>と記載されているリンクをクリックして選択してください。

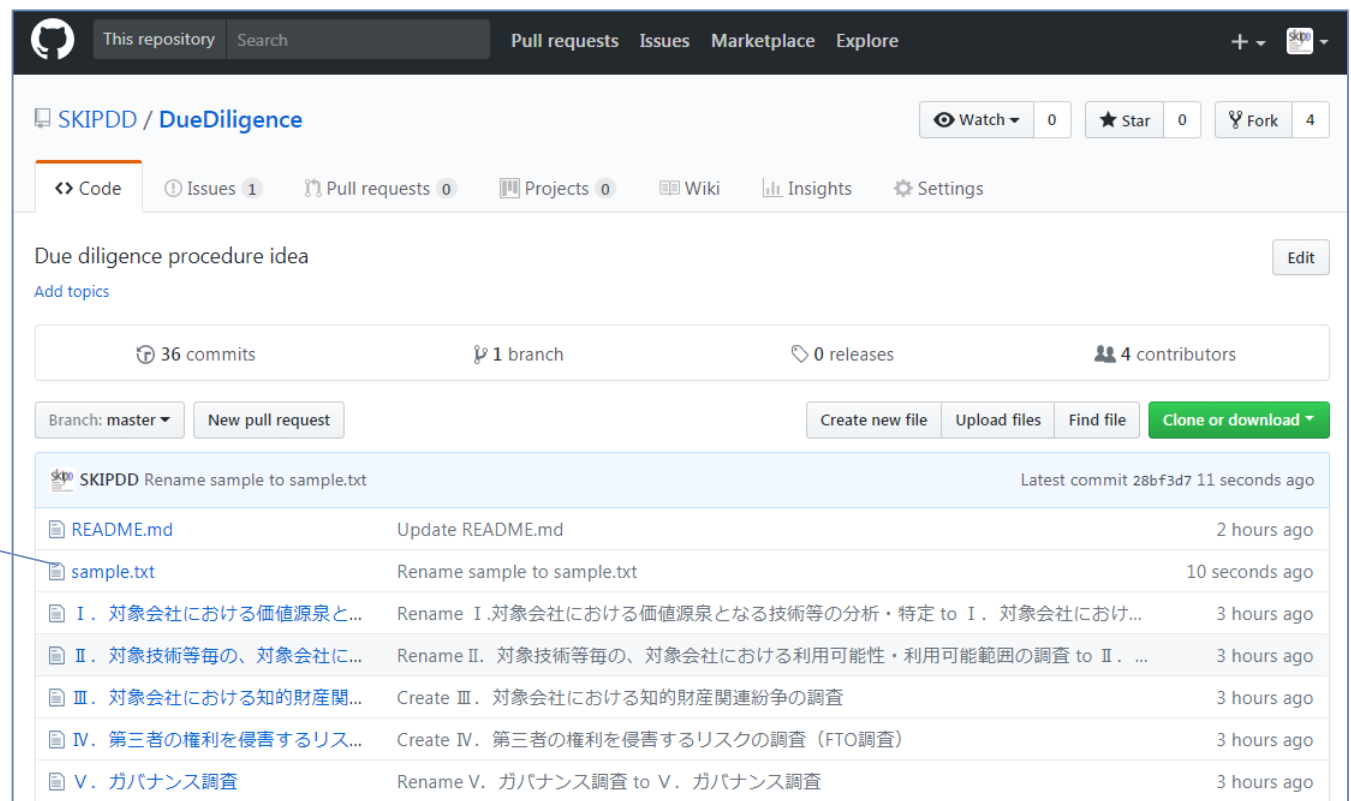


WEBブラウザのアドレスバーに直接URLに打ち込んでアクセスすることも出来ます。<https://github.com/SKIPDD/DueDiligence>

## 2. 5 編集する文書の選択

- 対象のリポジトリが表示されたら編集したいファイルを選んでクリックして下さい。
- ここでは例として“sampletext.txt”を選択します。

編集対象のファイルをクリック

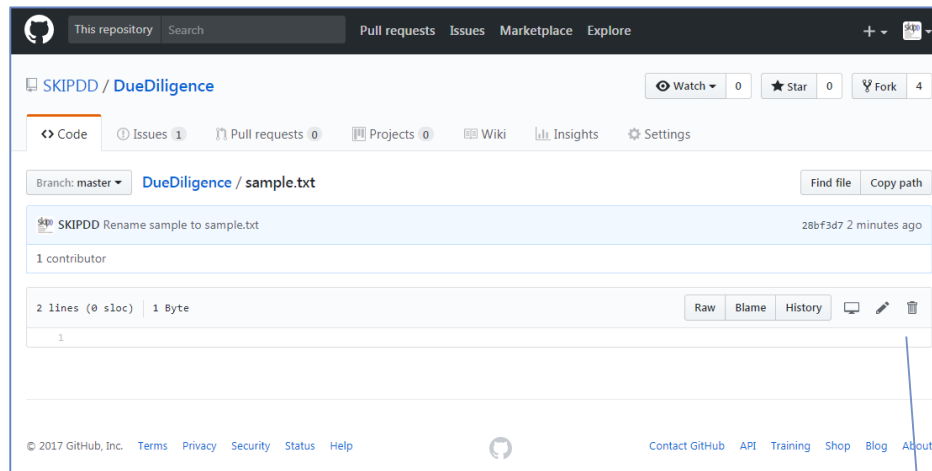


## 2. 6 文書の編集

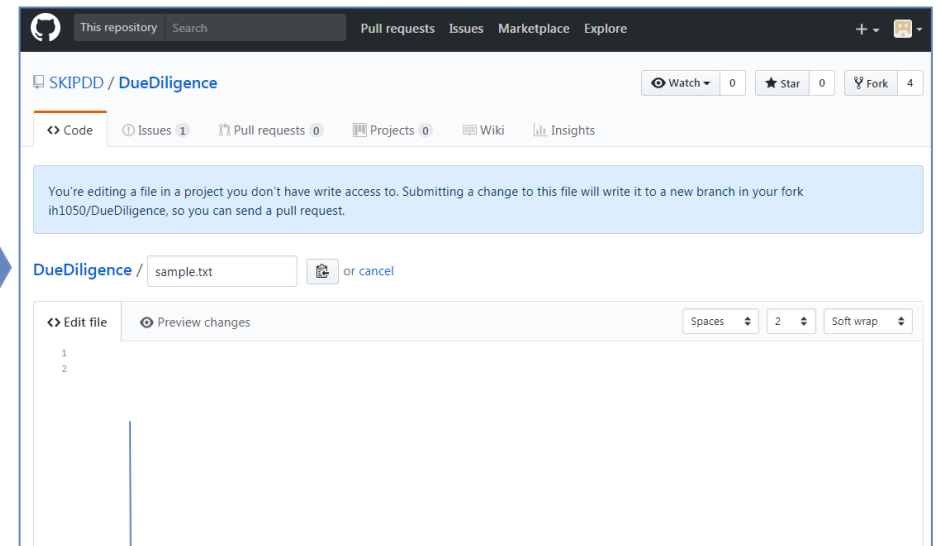
- 編集したいファイルを開いたら編集ボタンを押します。

元のリポジトリを直接編集する権限はないので自動的にリポジトリが自分のアカウント下にFork(コピー)され編集出来るようになります。

- 編集ウィンドウで文書の編集を行ってください。



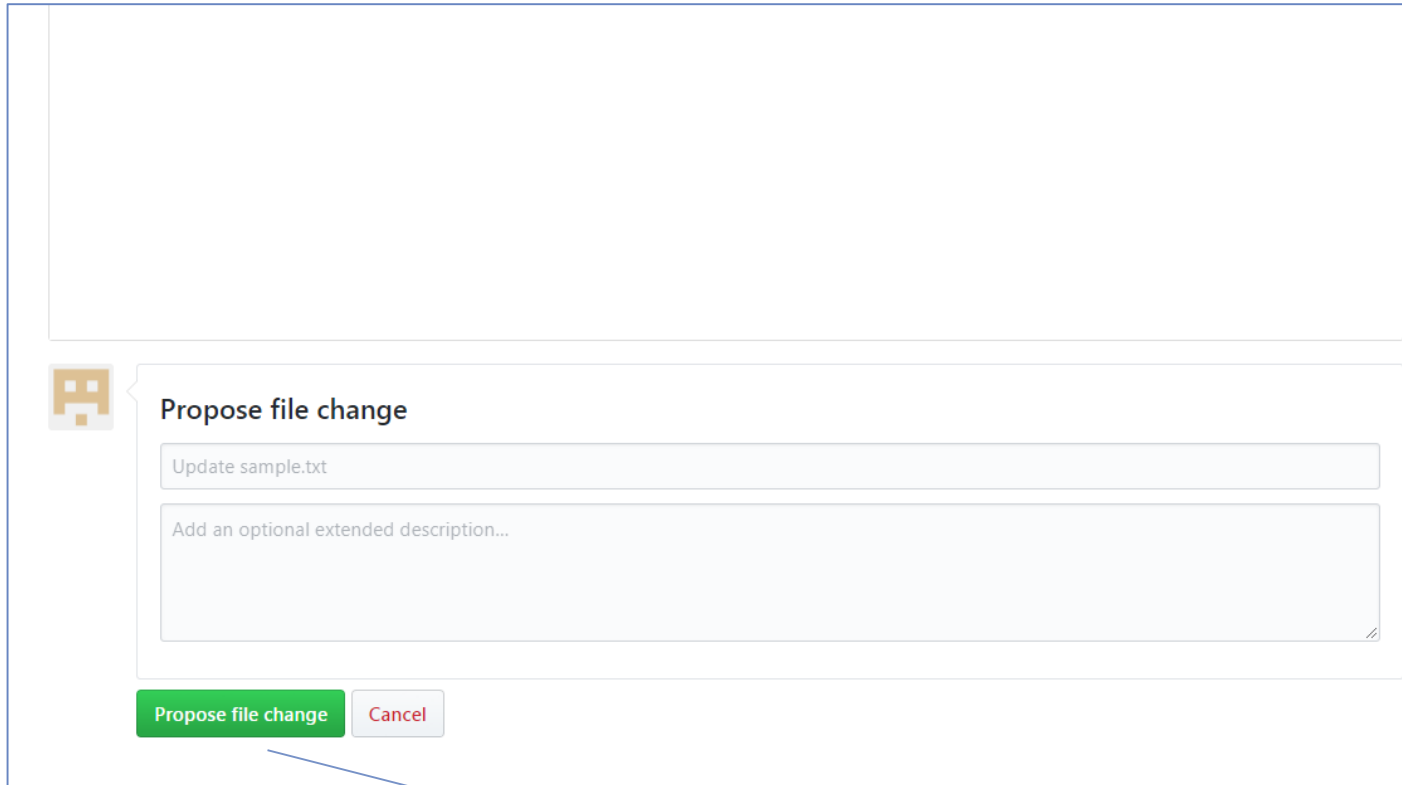
編集したいファイルを表示したら編集ボタンを押します。



文書が編集可能になるので画面上から編集作業を行ってください。

## 2. 7 変更内容の送信(pull request) (1 / 3)

- 文書の編集が終わったら画面を下方方向にスクロールして“Propose file change”というボタンをクリックします。



Propose file change

Update sample.txt

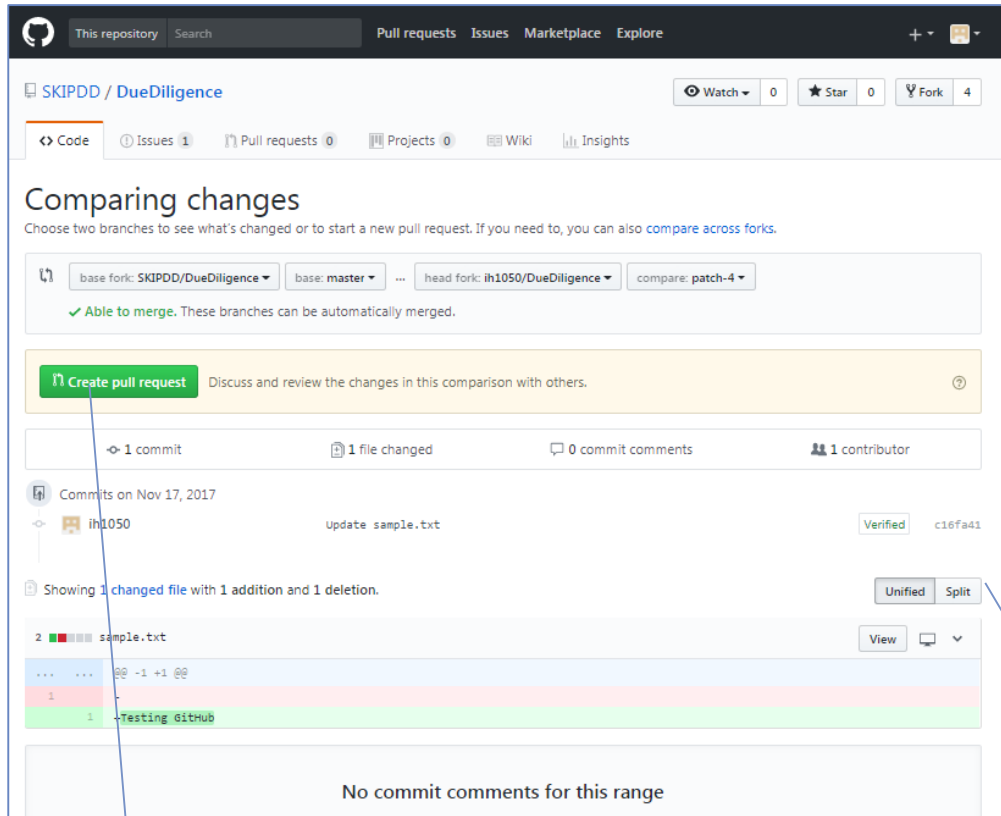
Add an optional extended description...

Propose file change Cancel

文章入力エリアの下部に“Propose file change”というボタンがありますのでクリックして下さい。

## 2. 7 変更内容の送信(pull request) (2 / 3)

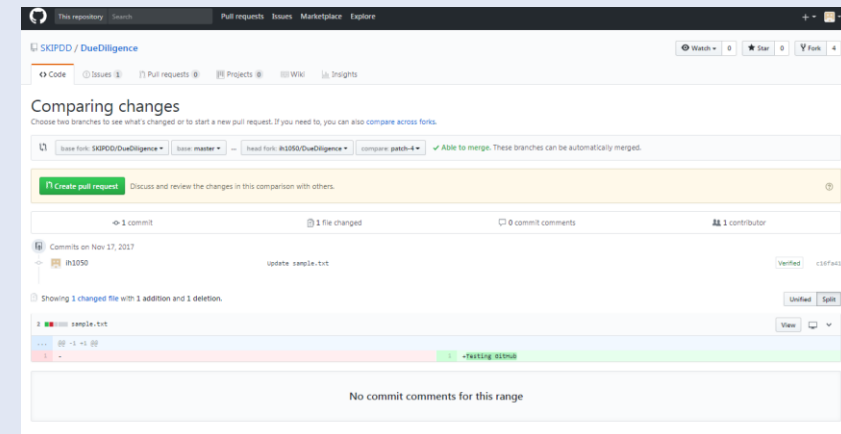
- “Create pull request”を押します。



“Create pull request”というボタンがありますのでクリックして下さい。

### 編集前後の比較表示(参考)

左側が編集前。右側が編集後。  
変更箇所がそれぞれ赤と緑でマークされます。



Splitというボタンを押すと変更前後の文書を左右に比較表示させることができます。Unifiedボタンをクリックすると元のページに戻ります。



## 2. 7 変更内容の送信(pull request) (3 / 3)

- 再度“Create pull request”というボタンをクリックします。

base fork: SKIPDD/DueDiligence base: master head fork: ih1050/DueDiligence compare: patch-4

✓ Able to merge. These branches can be automatically merged.

Update sample.txt

Write Preview

Leave a comment

Attach files by dragging & dropping, selecting them, or pasting from the clipboard.

☒ Allow edits from maintainers. [Learn more](#)

Create pull request

1 commit 1 file changed 0 commit comments 1 contributor

必要に応じてコメントを記載して下さい。

コメント入力が終わったら再度Create pull requestというボタンをクリックして下さい。

## 2. 8 変更内容送信 (pull request)の完了

- Pull requestが作成されました。基本的な変更提案の流れは以上になります。
- 元のリポジトリの管理者が内容を承認すると編集内容がマスターの文書に反映されます。

